

11月
15日

「リメンバーin岡崎」を開催

今年度も、岡崎市において「わかちあいの会」を開催することが決まりましたのでお知らせします。

- 日時** 2020年11月15日(日) 13:15-16:00
場所 岡崎げんき館 愛知県岡崎市若宮町2丁目1-1
内容 「自死遺族の分かち合いの会」
対象：自死遺族の方限定

-感染への不安を減らすため・ご協力をお願いします-

「わかちあい」の方法を少し変更します

今回8月の「わかちあい」ですが、ご参加の人数によっても変わるかと思いますが、いつもと少し違う方法で行います。

- ・アルコールでの手の消毒など（アルコールは準備します）
- ・マスクをお願いします（予備は受付で準備します）
- ・トーキングスティック（話す人が合図として持つもの）を使わない

- ・大きめの輪か、できるだけ弧に近い形で
- ・お茶など飲み物は各自ご持参ください

身近な方が亡くなり、そんなことに気を使っている余裕などない、それどころではない、マスクで話が聞きづらい、話したいけどやはり感染は心配など、みなさまさまざまな思いをお持ちかと思えます。

みなさまのご意見を思いをお聞きしながら、安心してお話いただける、安心して居られる場にしたいと思っております。

～こころの居場所～ 講演会

他会からのお知らせ

『コロナ禍における自死遺族のこれから』

他会（こころの居場所さん）からのお知らせです。下記のように自死遺族向けの講演会、個別相談会が行われます。

開催日時： 2020年9月20日(日)・11月21日(土)
※2021年3月も開催予定
講演会：13:30～14:30（開場13:10）
個別遺族会：

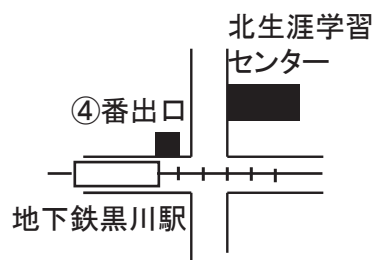
13:30～14:30 1枠
15:10～16:10 2枠

講師： 西野 敏夫 氏（臨床心理士）
申し込み： 事前予約制※感染予防対策のため
メール： cocoroibasyo@yahoo.co.jp
FAX: 0561-52-3150

次回の遺族会

第99回

8月23日(日) 13:15から
名古屋北生涯学習センター
地下鉄名城線「黒川」下車
(4番出口)よりすぐ
参加費:500円



その次は...

第100回

2020年10月18日(日)
※状況によっては中止・変更になる場合があります。直前にご確認ください。

日程は、ホームページまたは、電話案内でご確認いただけます。

パソコンの方

<http://will.obi.ne.jp/remember/>
携帯電話の方

<http://www.will.obi.ne.jp/m/>
電話案内(録音でのご案内)
090-8544-9408

新聞郵送をご希望の方へ

1月～6月末までのお申し込み(前期)…1000円
7月～12月末までのお申し込み(後期)…500円
詳しくはスタッフまで

スタッフ募集

遺族会に参加したことがある方で、会の活動のお手伝いをいただける方募集しています。
詳しくはお問い合わせください。

近隣の遺族会のご案内

以下中止・延期の場合もありますので、直前にご確認の上、お出かけください。

次回「ディアレスト」のご案内

家族ではないけれども大切な人を自死で亡くされた方を対象に、遺族会「ディアレスト (Dearest)」が開催されています。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今回はオンライン (Zoom) にて行われます。

日時：2020年9月27日 (日)

前半：14:00～14:30

後半：14:45～15:15

対象：家族以外の人 (恋人・婚約者・パートナー・親友・同僚・上司・部下・先輩・後輩・先生・生徒、など) を自死 (自殺) で亡くされた方

連絡先：the.dearest1@gmail.com

<http://dearest.heyajp>

次回「～こころの居場所～AICHI自死遺族支援室」のご案内

通常分かち合いのかわりに、9月20日 (日)、11月21日 (土) に、個別の相談会を計画しておられます。詳しくはお問い合わせください。

連絡先：cocoroibasyo@yahoo.co.jp

090-4447-1840

次回「いっぷく処」のご案内

さまざまな宗派の僧侶の方が集った「いのちに向き合う宗教者の会」により、「いっぷく処」が定期的で開催されています。平日午後での開催になります。

対象：大切な方を自死で亡くされた方

主催：いのちに向き合う宗教者の会

連絡先：info@inochi.in <http://inochi.in/>

今回は未定となっています。また「いっぷく処 お便り」として、手紙によるやりとりをされています。詳しくはお問い合わせください。

自死遺族向け面接相談(無料)のご案内

○愛知県精神保健福祉センター

要予約 052-962-5377 毎月第3木曜日 午後2時-3時30分

○名古屋市精神保健福祉センターこころば

要予約 052-483-2095 毎月第3火曜日 午前10時-12時

自死遺族向け電話相談(無料)のご案内

自死遺族を支援するNPO法人「アフター・ザ・レイン」(名古屋市)による電話相談

<https://aftertherain-japan.org/>

夜間電話相談： 毎週火曜日 22時から翌朝4時まで。
0570-017-222

りめんばー

帰り道、日も暮れた午後7時だというのに、道路にある気温表示を見ると35度でした。今年はお盆前あたりから急激に暑くなりました。

8月は、原爆の日、日航機事故、終戦の日、お盆と、どうしても人の死が意識させられる月です。さらに個人的には命日も加わり、暑さによるけだるさだけではない、重苦しい月となります。

新聞に、戦時中に特攻隊の命令書を書いたという95歳の方の記事が載っていました。顔の浮かぶ身近な隊員たちに特攻に行け、つまりは命を落とせという命令を下したことは、「人生で最もつらい経験だった」とありました。戦後75年、つまり20歳の時に人生で最もつらい経験をされ、その後の75年ずっと抱えて生きてこられたのです。もしかすると、95歳にしてはじめてそのことを語ることができたのかもしれない。

この欄を読んでおられる方には、「人生で最もつらい経験」を既にされておられる方も多いのではないかと思います。誰しも「これまでの人生で最もつらい経験」はあります。しかし、この先も含めた人生において、これ以上のつらいことなど起こりようがないと言い切れる、絶対的な確信。そんな確信が持てるほどのつらさだからこそ、人生半ばにして既に「人生で最もつらい経験」と思えるでしょう。記事にあった95歳の方も、20歳のころ既にその確信をお持ちだったのかもしれない。

夜12時過ぎ、枕もとの温度計は32.5度です。続く暑さは眠りを妨げ、重苦しさが積み重なっていきます。せめて夜だけでも涼しくなってくれば休まるのですが、8月にそんな救いはないようです。(KN)